

作成 2011年 4月 1日  
改訂 2024年 5月 1日

## 安全データシート (SDS)

### 1. 製品及び会社情報

製品の名称 : スーパークリーン バス・トイレ  
品番 : MJS/SS-11K~33K (23Kを除く)、MJS-0.5KG/SS-11K  
会社名 : 株式会社 LIXIL  
住所 : 東京都品川区西品川一丁目1番1号  
担当部門 : LWTJ タイル事業部 タイル製造部 伊賀上野工場 品質保証課  
緊急連絡先 : 〒518-0022 三重県伊賀市三田 1030 番地  
緊急連絡電話番号 : TEL 0595-21-5114 FAX 0595-21-1601

### 2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性	: 火薬類	区分対象外
	: 可燃性/引火性ガス	区分対象外
	: 可燃性/引火性エアゾール	区分対象外
	: 支燃性/酸化性ガス類	区分対象外
	: 高圧ガス	区分対象外
	: 引火性液体	区分対象外
	: 可燃性液体	区分対象外
	: 自己反応性物質及び混合物	区分対象外
	: 自然発火性液体	区分対象外
	: 自然発火性固体	区分対象外
	: 自己発熱性物質及び混合物	区分対象外
	: 水反応可燃性化学品	区分対象外
	: 酸化性液体	区分対象外
	: 酸化性固体	区分対象外
	: 有機過酸化物	区分対象外
	: 金属腐食性物質	区分対象外
健康に対する有害性	: 急性毒性 (経口)	分類できない
	: 急性毒性 (経皮)	分類できない
	: 急性毒性 (吸入: ガス)	区分対象外
	: 急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分対象外
	: 急性毒性 (吸入: 粉塵)	分類できない
	: 急性毒性 (吸入: ミスト)	区分対象外

	: 皮膚腐食性／刺激性	区分 1
	: 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分 1
	: 呼吸器感作性	分類できない
	: 皮膚感作性	分類できない
	: 生殖細胞変異原性	分類できない
	: 発ガン性	分類できない
	: 生殖毒性	分類できない
	: 特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）	区分 1（呼吸器、気道刺激性）
	: 特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）	区分 1（呼吸器）
	: 吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	: 水生環境有毒性（急性）	分類できない
	: 水生環境有毒性（慢性）	分類できない

<ラベル要素>

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

重篤な眼の損傷

呼吸器への刺激のおそれ

臓器の障害： 呼吸器系

長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害

注意書き

安全対策

: 粉じんを吸入しないこと。

取扱い後はよく手、顔を洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面／防じんマスクを着用すること。

**応急措置** : 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 皮膚（又は髪）に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。  
 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 眼に入った場合 : 水で 15～20 分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師の診察／手当てを受けること。  
 直ちに医師に連絡すること。  
 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。  
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

**保管（貯蔵）** : 施錠して 保管すること。部外者が触れないような措置をし、保管すること。

**廃棄** : 内容物及び容器を国、都道府県または市町村の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

種類 : セメント系目地材

成分 : セメント、細骨材、顔料

成分名	二酸化チタン	四三酸化鉄	ポルトランドセメント
化学式	TiO <sub>2</sub>	Fe <sub>3</sub> O <sub>4</sub>	3CaO·SiO <sub>2</sub> 2CaO·SiO <sub>2</sub> 3CaO·Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> 4CaO·Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> ·Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub> CaSO <sub>4</sub> ·2H <sub>2</sub> O
官報公示整理番号 (化審法、安衛法)	1-558	1-357	194:ケイ酸カルシウム 2408:アルミン酸カルシウム 鉄アルミン酸カルシウム 193:硫酸カルシウム
C A S No.	13463-67-7	1309-38-2	65997-15-1
添加量	0～0.9%	0～1%	30～40% (SS-23 のみ 40～50%)

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに、汚染された衣類を脱ぐこと／取り除くこと。  
皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ばく露又はばく露の懸念があり、気分が悪い場合 : 医師の診断及び手当てを受けること。

#### 5. 火災時の措置

- 消火方法 : 不燃物であり、製品による火災は起こり得ない。
- 消火剤 : 不燃物であるため、必要としない。

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 関係者以外の立ち入りを禁止する。  
作業者は適切な保護具（「8 ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
- 環境に関する注意事項 : 製品の環境中への流出を避ける。  
濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策をとる。  
粉じんが飛散しないようにする。
- 除去方法 : 飛散した粉末は、掃除機等で吸い取って回収する。床面等に付着したものは水道水で洗浄する。

#### 7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い
- 技術的対策 : 「8 ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。
- 安全取扱い注意事項 : 屋内で取り扱う場合は、換気に注意する。  
みだりに粉じんが発生しないように取り扱う。
- 保管
- 適切な保管条件 : セメントと同様の扱いとし、湿気の少ない場所にパレット等

	を敷き、床面より離して保管する。
技術的対策	: 該当なし
技術的対策	: 保管場所には、危険・有害物を貯蔵・取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。
混触禁止物質	: 酸性の製品、水（水との接触で、強アルカリ性 pH 12.13 を呈するため）
保管条件	: 酸性の製品、水と接触の恐れがない場所に貯蔵する。 部外者が触れない措置を講ずる。 乾燥した場所に保管する。
安全な容器包装材料	: 防湿性の容器を使用する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 1.36 mg/m <sup>3</sup> ※E 3.0 / (1.19Q <sup>1</sup> ) により算出。 この式において、E は管理濃度（単位 mg/m <sup>3</sup> ）、Q は当該粉じんの遊離けい酸（結晶質 シリカ）含有率（単位 %）を表す。Q は、GHS 分類の定義上での最大値、Q 1% を算出に用いた。0.05 mg/m <sup>3</sup> （マンガン及びその化合物、マンガンとして
------	--

許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標）

ACGIH TLVTW A (2021) : 10mg/m<sup>3</sup>（インハラブル粒子）（硫酸カルシウム）

ACGIH TLVSTE L (2021) : 設定されていない

日本産業衛生学会（2021）： 1 mg/m<sup>3</sup>（吸入性粉塵）、4mg/m<sup>3</sup>（総粉塵）（第2種粉塵（ポルトランドセメント  
0.03 mg/m<sup>3</sup> 吸入性結晶質シリカ  
0.02 mg/m<sup>3</sup>（吸入性粉塵）、0.1 mg/m<sup>3</sup>（総粉塵）  
（マンガンおよびマンガン化合物（Mnとして、有機マンガン化合物を除く））

設備対策	: 室内で取扱う場合は、管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備える。 多量に取扱う場合は集塵機を設置する。
保護具	: 呼吸用保護具                    簡易防じんマスク 目の保護                    側板付き保護メガネ(眼鏡)、ゴーグル型 手の保護                    保護手袋(ゴム) 皮膚及び身体の保護具    保護服、保護長靴、保護前掛け

## 9. 物理的及び化学的性質

外観	: 固体(粉末)
沸点	: -
融点	: 約1350°C (ポルトランドセメントとして)
比重	: 2.80~3.10
溶解度	: 水に難溶性
揮発性	: なし
pH	: 水と接触すると pH = 12~13
その他	: 爆発性なし、水硬性

## 10. 安定性及び反応性

引火点	: 不燃物質
発火点	: 不燃物質
爆発限界	: 上限 - 下限 -
可熱性	: 不燃物質
発火性	: なし
酸化性	: なし
自己反応性・爆発性	: なし
安全性・反応性	: 水と反応して固化する。

## 11. 有害性情報

急性毒性	: (経口) データ不足のため分類できない。
急性毒性	: (経皮) データ不足のため分類できない。
急性毒性	: (吸入: ガス) GHS の定義における固体である。
急性毒性	: (吸入: 蒸気) GHS の定義における固体である。
急性毒性	: (吸入: 粉じん/ミスト) データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	: 水と接すると強アルカリ (pH = 12~13 となる。また本製品の粉じんは体内の水分と結合して、皮膚と眼に軽度~重度の腐食性火傷を形成することがある。これより区分1とした。

### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

: 水と接すると強アルカリ (pH = 12~13 となる。また本製品の粉じんは体内の水分と結合して、皮膚と眼に軽度~重度の腐食性火傷を生じることがある。また本製品が眼に滞留した場合、洗い流さないとアルカリ火傷を生じるおそれがある。これらより区分1とした。

### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

生殖細胞変異原性	：データ不足のため分類できない。
発がん性	<p>：データ不足のため分類できない。</p> <p>：本物質の粉じん を吸入したコンクリートやセメントを扱う職人、セメント工場作業員など対象とした疫学研究結果では、肺癌、又は他臓器のがん（膀胱がん、胃がん、結直腸がん等）による死亡率の増加、又は標準化罹患比 SIR ）の増加がみられたとする報告が複数ある一方で、肺癌も他臓器のがんも併せて発がんの増加は認められないとの報告もあり、概して発がん 頻度とばく露濃度との相関性解析結果が欠落している（ACGIH (7th, 。呼吸器系がんに対しても、全ての研究報告が喫煙による影響を十分に排除して評価されているわけではないことから、ACGIH は本物質ばく露による発がん性影響は一貫性に欠け、A3 に分類するには証拠が不十分であるとして、本物質（アスベストを含まず、結晶質シリカが 1%未満のポルトランドセメント）を A4 に分類している（ACGIH (7 th, 2010) ）。この他、他の国際機関等による発がん性評価は行われておらず、以上を踏まえ、本項はデータ不足のため「分類できない」とした。</p>
生殖毒性	：データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	：酸化鉄 1%以上のため区分 1（呼吸器系）とした。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	<p>：ポルトランドセメントを長期間吸入した場合、じん肺症の発症は明確でないものの、慢性気管支炎や喘息などの呼吸器疾患を生じたとの報告が複数ある（ACGIH (7th, 2010) 、DFGOT vol. 11 (1998) ）ことから区分 1（呼吸器が適切と考えられる。</p>
1 2. 環境影響情報	<p>：生態影響についてはデータなし。</p> <p>接触水アルカリ性（ pH12 ～13）を呈するから環境に影響を及ぼさないように注意する。</p>
1 3. 廃棄上の注意	<p>残余廃棄物</p> <p>：都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。</p> <p>洗浄水等の排水は、凝集沈殿、活性汚泥等の処理により洗浄し</p>

汚染容器・包装 : 空容器・包装を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。  
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

#### 14. 輸送上の注意

国際規制によるコードおよび分類に関する情報

: 該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

: 運搬に際しては包装に漏れのないことを確かめ、転倒落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。また、水濡れがないよう保護措置を講じる。

#### 15. 適用法令

じん肺法 : 第2条施行規則別表 粉じん作業

化学物質排出把握管理促進法 (P R T R法) : 非該当

労働安全衛生法 : ポルトランドセメント、二酸化チタン、酸化鉄

名称等を表示すべき危険有害物 (法第57条、施行令第18条別表第9)

二酸化チタン、酸化鉄

名称等を通知すべき危険有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)

二酸化チタン、酸化鉄

リスクアセスメントを実施すべき危険有害物 (法第57条の3)

がん原性物質 : 該当しない

皮膚等障害化学物質 (労働安全衛生規則第594条の2第1項)

皮膚刺激性有害物質 : 該当しない

毒物及び劇物取締法 : 該当しない

#### 16. その他

: 記載事項は現時点で入手できた資料・情報・データに基づき作成してありますが、物理化学物質性・危険性・有害性等に関しましては、いかなる保障をなすものではありません。又、注意事項は通常取り扱いを対象としたもので、特殊な取り扱いを行う場合には、十分な安全・衛生・環境対策を実施して下さい。

途中改訂

2014年 2月 1日

2015年 4月 1日

2016年 8月 1日

2016年 8月 18日

2017年 2月 6日

2022年 12月 1日

2023年 3月 29日

2024年 3月 29日